



《東京都中学校長会》 平成29年12月12日（火）

12月会長だより（地区代表者連絡会）

会長 岩 永 章

1 挨拶

「中学校教育70年記念第68回全日本中学校長会東京大会」が終わり、早くも2か月が過ぎようとしています。振り返ってみると、開催直前には膨大な事務量と各種調整に神経を使っていた日々が遠い昔のように感じられます。東京大会の準備に追われることもなく、日々の学校経営に力を注げる状況に戻ったことをうれしく感じています。机上に溜まっていた害類もようやく片付き始めました。機会があって事務局を訪ねると、大会直前には緊張感が漂っていた雰囲気も、普段の穏やかな雰囲気に戻り、ゆとりをもって事務処理を進められていました。こうした光景を見てみると、大会が無事終了したという実感がわいてきます。

しかしながら、まだ、東京大会のすべてが終わったわけではなく、教育対策部を中心に報告書の作成が粛々と進められています。総務部でも鳥取県への引き継ぎ資料のとりまとめに着手したところです。

大会終了後に、実行委員長として二つのことを行いました。一つは、大会終了後の日曜日を使って、記念講演をいただいた大村智先生と伝統芸能をご披露いただいた鶴賀若狭椽先生に礼状を送りました。もうひとつは、11月24日（金）に行われた全日中常任理事会に出席し、全国各ブロック代表の全日中副会長の先生方に東京大会への協力の御礼を申し上げてきました。

東京大会に関する動きは以上の通りですが、今年度はその他にも「働き方改革」への対応に関する課題等もあり、並行して取り組んでいます。これらも着実に進めているところです。詳細は当面の課題で触れさせていただきます。

2 当面の課題

（1）働き方改革に関する動き

11月の区市等校長会長連絡会の折に、都教委より「学校における働き方改革推進プラン（中間報告）」に対するパブリックコメントへの協力要請がありました。それを受けて都事務局より各地区に意見集約の協力を求め、各地区から都教委に直接意見を挙げてもらうようお願いしました。ご協力ありがとうございました。また、本会では各地区からいただいたご意見をもとに、本会の意見として、重要事項を取りまとめ都教委に要望します。

今回の中間報告は、予算編成中の報告であるため、予算を伴う改革については具体的記述が難しいと推測することができます。最終報告の策定に向け、本会としてこれからも協議を重ね、現状を少しでも改善できる方向に進めていきたいと考えています。

（2）進路対策委員会の活動による平成30年度向けの入学者選抜の詳細が固まる

平成30年度に向けた都立高等学校入学者選抜の大きな改革が行われています。インフルエンザ罹患者の受験機会の保障や他県からの受験者の受験資格緩和などこれまでにない大きな改革となっています。茅原委員長をはじめ進路対策委員の先生方が協議を重ね、進路指導に混乱をきたさないようご尽力いただいています。こうした取組を各地区でもお伝えいただければと思います。

3 連絡・報告等

(1) 平成29年度校長選考、教育管理職選考の結果

1月30日に校長選考、教育管理職選考の結果が発表されました。今年度から主任教諭にもB選考の受験資格が与えられるようになりましたが、受験倍率がそれほど上がらないという状況でした。来年度に向け校長会としても各校長が人事構想と育成計画に基づく人材の掘り起こしを、精力的に進めていくことが必要と考えています。

(2) 平成30年度 中学校長会研究大会・総会に向けた拡大実行委員会の開催

立川市で開催予定の本会の総会・研究発表会に向け、12月11日（月）に第1回拡大実行委員会を行います。

平成30年度の大会の準備が始まりました。立川市をはじめ第10ブロックの先生方にはご負担をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願ひします。

(3) 第2回東京都教育庁指導部との教育連絡会

学期末の12月21日（水）に都教育庁指導部との教育連絡会が予定されています。連絡会では、新学習指導要領への対応など今日的なテーマに焦点を当て、意見交換を行う予定です。